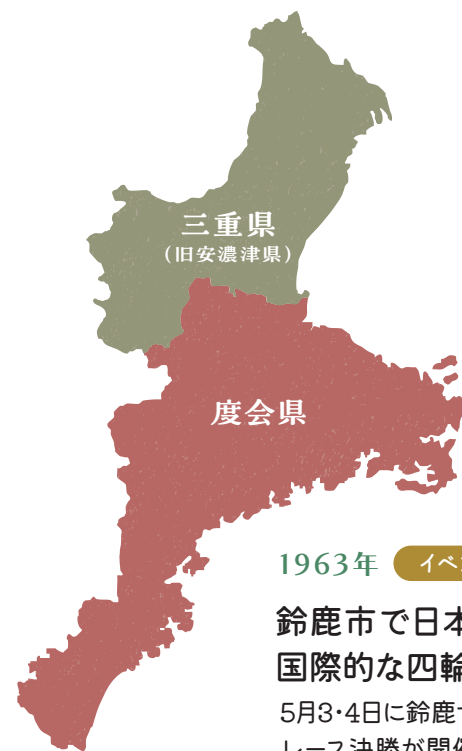


三重の歴史を、振り返る



1876年

「三重県」の設立

三重県の設立は、1871年(明治4年)の廃藩置県による「県」設置の際、安濃津県と度会県が誕生したことから始まります。

1872年(明治5年)に安濃津県の県庁が四日市に移された際に県名が「三重県」に改称され、さらに1876年(明治9年)4月18日に度会県と合併して、現在の三重県が誕生しました。この日を記念して、三重県では4月18日を「県民の日」と定めています。

1882年 自然と文化

日本初!

二見浦海水浴場 開設

二見浦は日本初の公認海水浴場として開設されました。初代軍医総監・松本順のもと、衛生局長・長与専斉が指定し、当初は医療目的の「浴治(よくじ)」として冷浴と温浴を行っていました。開設地は立石崎でしたが、1884年(明治17年)に二見館前へ移されました。



写真提供: 實日館

1876

1890

写真提供
四日市市立博物館

1899年
四日市港
開港

1900

1940

1945年 歴史

太平洋戦争 終戦

1945年(昭和20年)、太平洋戦争末期に津・四日市・宇治山田・桑名などで大規模な空襲があり、多くの人命や家屋が失われました。



写真撮影: 太田金典

1946年 自然と文化

伊勢志摩国立公園 指定

伊勢志摩国立公園は、戦後初めて指定された国立公園で、三重県の広大なエリアを有します。リアス海岸や温暖な気候に育まれた多様な生態系が特徴で、地域の暮らしや文化が自然とともに息づいています。指定から80周年を迎える今も、その豊かな環境は大切に受け継がれています。



1963年 イベント

鈴鹿市で日本初の国際的な四輪レース 開始

5月3・4日に鈴鹿サーキットで日本初の国際自動車レース決勝が開催され、戦後の本格的な四輪レースの始まりとされました。



写真提供: ホンダモビリティランド株式会社

日本初!

1990

1976年
三重県 誕生
100 周年

1960

1950

1994年 イベント

世界祝祭博覧会 開催

世界祝祭博覧会(まつり博・三重'94)は、三重県で開催された地方博です。県内69市町村が参加し、日替わりで「市町村の日」を設けて地域の魅力を紹介しました。祭りをテーマに世界の文化にも触れられる内容で、約65万人が来場しました。



2000

2017年 イベント

第27回全国菓子大博覧会・三重 開催

日本最大級のお菓子の祭典で、菓子文化の継承や地域活性化を目的に開催。全国の菓子が展示・即売され、工芸菓子の披露や限定菓子の販売も行われました。



2020

2026

2023年 イベント

G7三重・伊勢志摩 交通大臣会合 開催

G7交通大臣会合は、加盟国の交通政策やインフラ整備、安全対策などを協議する会合で、国際的な交通・輸送分野の課題解決や連携強化を目的に開催されました。



写真提供: JR東海

2026年

2026年4月18日、三重県は誕生150周年。

自然と文化、人々の努力によって育まれてきたこの地は、長い歴史のなかで変化と成長を重ねてきました。いま私たちは、その歩みを礎に新たな未来を描こうとしています。150年の佳節を迎える今、三重県はさらなる進化をめざし、伝統と革新を調和させながら、先人たちが築いてきた大切なものを次の世代へ受け継いでいきます。



写真提供: ミキモト真珠島

1893年 自然と文化

世界初!

御木本幸吉、世界初の半円真珠養殖に成功!

鳥羽のうどん屋「阿波幸」の長男・幸吉は、自作の真珠で世界中の女性を飾る夢を抱き、1893年(明治26年)に養殖真珠を初めて成功させました。さらに真円真珠の養殖技術を確立し真珠を世界へ広めました。